学修単位様式

科目名	実務研修 I	英語科目名	Internship I	
開講年度・学期	平成 28 年・通年	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻電子制御工学コース 1 年	
授業形態	実習【クラス分け】	必修 or 選択	必修	
単位数	2 単位	単位種類	学修単位 45 h	
担当教員	渡邊 達男、南斉 清巳、 小堀 康功、久保 和良、 鹿野 文久、笠原 雅人、 平田 克己、井上 一道、 大島 心平、飯島 洋祐	居室（もしくは所属）	電気電子創造工学科棟 3 階 （渡邊、南斉、鹿野、笠原、井上、飯島） 電気電子創造工学科棟 4 階 （久保、平田、大島） 管理棟 3 階（小堀）	
電話	内線： 256（渡邊）、257（南斉）、 255（小堀）、261（久保）、 258（鹿野）、263（笠原）、 254（平田）、260（井上）、 259（大島）、262（飯島）	E-mail	watanabe@小山高専ドメイン（渡邊） nansai@小山高専ドメイン（南斉） kobori@小山高専ドメイン（小堀） kubo@小山高専ドメイン（久保） kano@小山高専ドメイン（鹿野） kasahara@小山高専ドメイン（笠原） hirata@小山高専ドメイン（平田） k.inoue@小山高専ドメイン（井上） s-oshiba@小山高専ドメイン（大島） yijima@小山高専ドメイン（飯島）	
授業の到達目標		授業到達目標との対応		
		小山高専の 教育方針	学習・教育 目標(JABEE)	
1. 予め研修先の情報を入手し、基礎及び専門科目の知識を元に十分な研修計画を行えること。		②	B	JABEE 基 準要件 b, c, f
2. 研修内容を把握し、自主的、積極的ならびに計画的に、他と文書や口頭でコミュニケーションをとりながら研修を進めることができる。		②〇 ⑥	B	b, c, f
3. 実務研修の内容を口頭および文書等で適切に発表できること。		②	B	b, c, f
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1. 事前の準備状況や帰校後の報告状況により、担当教員が評価する。 2. 研修状況により、研修先の指導者が評価する。 3. 帰校後の報告会における発表により評価する。				
評価方法				
上記 1～3 について、達成度を点数で評価し、それぞれ 6 割以上の点数をもって達成とする。				
授業内容				
企業および研究機関等の研究室・技術開発室・製造工程部署等において、学校の授業で修得した知識の適用方法・研究および技術の実態を、現場担当者の指導の下での実務経験を通して、実社会において協調性および創造性のある幅広い開発型研究技術者を養成する。 研修先の指導者にしたがう。				
キーワード	インターンシップ			
教科書	研修先により異なる。			
参考書	研修先により異なる。			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	インターンシップ、卒業研究 その他全科目			
現学年の関連科目	電子制御工学ゼミナール、電子制御工学実験、特別研究			
次年度以降の関連科目	特別研究			
連絡事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修先については、基本的に自ら探して応募することとする。但し、特別研究指導教員やコース主任が適宜相談に応じる。 ・ 事前に研修予定企業と打ち合わせを行い、研修の内容を決定する。 ・ 研修時期は原則として夏休み期間中とし、2 週間の期間を必要とする。 ・ 社会人として企業などに就職する前に、短期間ながら企業の仕事に携わることが出来るので、将来の仕事への適応性などを念頭に置きつつ研修を行うと良い。また、学校とは異なる視点から評価されることから、社会人としての資質などを考える良い機会となると思われる。 				
シラバス作成年月日	2016 年 4 月 15 日			